

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	第4ジュニアゆうあい		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供のことを十分に理解し、子供と保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されている。	アセスメント、モニタリングをしっかりと行い職員間での共通理解を深められるようにミーティングの時間を大切にしている。	第三者による外部評価を参考に支援に取り組む
2	事業所を利用する際に、運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明をしている。	契約時に丁寧に説明をし疑問点に対してはその場でお答えしている。	
3	保護者向け評価表により、保護者の意向等を把握し個々の子供についてはアセスメントを適切に行い子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで放課後等デイサービス計画を作成している。	子供たちが楽しく過ごせるように支援プログラムが固定化しないように工夫している。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設の建物が構造上バリアフリー化が難しい。 一軒家なので広さが十分とはいえない。	建物の構造上バリアフリー化は難しい。広くすることもできない。	最適な物件を探している。 工夫と配慮で狭さや危険を感じにくいように努力している。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子供と活動する機会がない。	利用している子供の生活圏がそれぞれ違うので難しい。	地域のイベントに参加したり、放課後等デイサービスの他の事業所との交流を増やしていく
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	第4ジュニアゆうあい						公表日	2025年3月1日	
		利用児童数		2024年12月1日現在		20名		回収数	19
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	2		1			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	2		5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	2		2		バリアフリー化は建物の構造上難しいが配慮と工夫で不便のないようにしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18		1			建物が古くなってきていますが、心地よく過ごせるように工夫しています。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	1			子供に合わせた活動をしていただいています		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14			5		どのように公表されているかをわかりやすくお伝えできるよう検討していきます。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19				よく理解して作成されていると思います		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17			2		個別支援計画の面談の際にわかりやすくお伝えできるよう工夫いたします。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18			1		個別支援計画の面談の際にわかりやすくお伝えできるよう工夫いたします。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1		3		個別支援計画の面談の際にわかりやすくお伝えできるよう工夫いたします。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	4	2	7		地域のイベントに参加したり、他の放課後等デイサービスとの交流を行っています。	
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19						
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	1		2		情報交換会などご家族様も参加できる企画を用意し、わかりやすくお伝えできるよう工夫します。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	17	2			毎日デロポで詳しく教えてもらっています		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	1	1			年に二回、個別支援計画の面談を行っています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	1					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	5	1	7	・保護者会になかなか出られませんがよく開かれているので良いことだと思います ・きょうだいについてはわかりません ・いろいろな交流会、相談会、勉強会で様々な保護者さんとお話を聞けたり話せる機会はとてもありがたいと思います。	わかりやすくご案内できるよう検討いたします。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	2		2		個別支援計画の面談の際にわかりやすくお伝えできるよう工夫いたします。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17			2		意思の疎通や情報伝達のための配慮を行っています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18			1	・各事業所の様子が載っているお便りをいつも楽しくみせていただいています。	公表されていることがわかるようにお伝えしていきます。	
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			3		個別支援計画の面談の際にわかりやすくお伝えできるよう工夫いたします。		
非常時 等の 対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17			2		個別支援計画の面談の際にわかりやすくお伝えできるよう工夫いたします。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			1		個別支援計画の面談の際にわかりやすくお伝えできるよう工夫いたします。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17			2		個別支援計画の面談の際にわかりやすくお伝えできるよう工夫いたします。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15		1	3		職員全員が速やかな対応が取れるよう努めています。	
満足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19				・長い間利用させていただいて家と同じように思っていると思います ・本人が居心地がいいと言っています		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18			1	・とても楽しみにしています ・朝の学校の行き渋りでもゆうあいの日と伝えると足取りが軽くなります。		
	29	事業所の支援に満足していますか。	19				・とても満足しています ・いつも助けていただき大変感謝しております ・色々とお心遣いに感謝しています		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	第4 ジュニアゆあい		公表日 2025年3月1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	4	・建物の構造上暑い箇所があるがその時々で工夫しながら過ごしている。	・人数に対して建物がいっぱい ・利用人数により適切でないと感じる日もある
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員配置は適切であるか。	3	4	・他事業所からのヘルプで対応している	・目によって人員不足 ・ゆとりがほしい
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構築された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	5	・建物の構造上バリアフリー化はできないが設備と工夫で不便のないようにしている	・階段が深い ・段差がありバリアフリーとはいえない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	・活動の場所、静養する場所などと分けて使用している。 ・活動に応じて場所の変更をしている。	・もう少し広さがほしい
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	・着替えやおやつ、学習など場所が決まってきたりしている	・時と場合、利用する日の子供にもよる
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	6	1	・月に一度子供たちの様子振り返り時間設けたり、毎日のミーティングで子供たちの様子を共有し改善に努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・デフォルトなどで日々の意見などをいただいている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・オンラインワークスを活用している ・ミーティングなどスタッフの声はよく聞いていると思う	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		・組織として実行しているのでは ・定期的に外部の方に意見を頂いて頂き評価してもらっている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・研修研修の案内があつて助かります ・参加する機会に恵まれている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		・適切に公表されていることとそうでないことがあると感じる
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・話し合いの時間を設けている ・スタッフ同士での共通認識はあると思う	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	・それぞれの支援を全体で共有できるようにしている	・職員によってさまざまである
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・フォーマルなアセスメントは行っていないが日々、行動観察を共有している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のなほ及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	・定期的に話し合いや伝達がある	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・月ごとに話し合っている ・担当者によって様々な活動をしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・学校休業日などは共有の連絡ツールを活用して伝えられている ・ミーティングを行っている	
	21	支援終了後は、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・その日ではない日々行うことができる ・オンラインワークスの利用で時間内の事務の伝達もできている、振り返りもしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・ミーティングの時間内に記録されている ・何かあった場合はすぐにスタッフ間で共有している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービスの見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・みんなで話し合い一人一人の利用者の計画を見直している	・スタッフとして関わっていないことについてはわからない
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4	1	・第4で用意しているプログラムを行うことにより自然と基本活動の組み合わせのある支援になっている。	・全員ができていないわけではない
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をすすめるための支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、教育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	・協力医療機関を定めた。松江市障がい者福祉相談支援センターとの連携など体制を整えている	
	28	学校との情報共有（年計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	・学校送迎時に担任の先生と情報共有したり緊急時には電話連絡をしたりしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	・中産生対象の施設なので行っていない	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか。	5	1	・必要に応じて行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2	・臨床心理士によるアドバイスを受けている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	・他の放課後等デイサービスとの交流がある ・時々企画している	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	2	・松江市では任意協議会を開議しているが委員活動のための委員としては参加していない。放デイの代表として参加されたところから資料等をいただく機会を受けている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	・ペアレントトレーニング等の必要性を感じた場合は専門の公認心理士へ連絡を取り面談しつなげている。 ・契約時に説明を行っている	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の観点から、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けているか。	7		・保護者面談など行われている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要と助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		・保護者同士の交流は地活を活用したり就労移行プログラムの企画を取りたりして参加機会が設けてある	・きょうだい同士で交流する機会はない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・共有できていると思う	
	42	定期的に連絡等を行うこと、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報取扱に十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	7			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・研修会など定期的に行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			・本日の災害が来たら訓練で行っている訓練記録にブックレットなどある。パニックも起こると思う。臨機応変な対応が必要。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	6		・服薬やてんかん発作については確認できていると思う	・予防接種の状況は確認していない
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	7		・ヒヤリハット報告書を記入している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・研修の機会がある	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こども保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		・マニュアルの準備を行い、研修会も行っている。 ・保護者には個別支援計画の面談の際に説明を行っている。	